

いじめ防止推進校の紹介

会津若松市立第一中学校・学友会

【学校紹介・学校の課題】

会津若松市立第一中学校は、3つの小学校から399名が集まる学校です。「世界につらなる一中生」という学校目標のもと、私たち学友会は全校生徒が楽しい学校生活を送れるよう、日々活動を頑張っています。でも、生活アンケートでは、勉強が苦手な人や友だち関係で悩む人がいることが分かりました。私たち学友会全員で、行事や人とのつながりをもっと楽しくできる工夫をして、みんなが安心して過ごせる学校にしていきたいです。



【学友会の活動の様子】

私たち学友会は、学校生活をもっと良くするために中心となって活動しています。朝のあいさつ運動や「感謝の木」の設置、学級対抗の行事や地域清掃など、いろいろな取り組みを行っています。また、選挙で約束したことを実現したり、スマホの使い方のルールをみんなで守ったりと、生徒が主体となって頑張っています。アンケートをもとに、友だちとの関係や行事のアイデアを考え、全校生徒が楽しいと思える学校づくりを目指しています。



【いじめ防止ラウンドテーブルに参加して】（8月）

ラウンドテーブルでは、これまでの活動を振り返りながら、みんなで「続けられる仕組み」が大事だと改めて感じました。生徒同士のつながりや学校行事の工夫がもっと必要だということに気づき、学友会や委員会の活動をどう良くしていくか考えるきっかけになりました。他の学校の取り組みを聞いて、いじめを防ぐために何ができるか、新しいアイデアや視点を学ぶことができました。



【参加した後の活動や変容】（1月）

ラウンドテーブルの後、私たち学友会や委員会では活動をもっと良くするためにアイデアを出し合いました。地域ボランティアでは登校中のゴミ拾いを行い、みんなが予想以上にたくさんのゴミを集めてくれました。「感謝の木」はたくさんのメッセージでいっぱいになり、「笑顔の本」に発展して各学年フロアに掲示されています。これからも全校生徒が学校の課題を自分ごととして考え、より良い学校にしていけるように、活動を振り返ったり、みんなで意見を共有したりしていきたいと思っています。生徒同士のつながりを深め、みんなが楽しく過ごせる学校を目指して頑張ります！

